

開催概要

名 称 : 第 162 回日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部例会
日 時 : 2026 年 9 月 12 日 (土) 11:00 ~ 17:35
会 場 : 新潟医療人育成センター 4F ホール
新潟県新潟市中央区旭町通一番町 757 番地 (新潟大学旭町キャンパス内)
ハイブリット開催 (現地 + WEB 配信: リアルタイムのみ)
例 会 長 : 関 義信 (新潟県立がんセンター新潟病院 / 新潟大学医歯学総合病院 血液内科)
テ ー マ : 『皆で実践する輸血療法 - 安全・適正・連携 - 』

◆ 参加登録

申込期限 : 2026 年 8 月 28 日 (金) 17:00

振込期限 : 2026 年 9 月 4 日 (月) 17:00

参 加 費 : 2,000 円 (会員、非会員問わず)

※ イベントペイによる参加申し込み・参加費支払いとなります。

※ 別途システム利用料 275 円 がかかります。

※ 振込後のキャンセルはできません。

・参加登録方法のご案内

参加登録は、日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部の HP にある

第 162 回 支部例会 > 開催と参加登録 ご案内 (第 2 報) より

参加登録フォーム (QR コード / URL) よりお申し込み下さい。



https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=0358396606160467&EventCode=P367550484

参加登録フォーム QR コード から登録できない方は、「第 162 回日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部例会事務局」にメールまたは TEL にてお問い合わせください。

◆ 現地参加・WEB 配信のご案内

- ・ 参加申し込みいただいた方全員に 9 月 7 日 (月) Zoom ウェビナー視聴者用の URL を送信いたします。9 月 8 日 (火) 以降、URL のご案内が届かない場合は、事務局にご連絡をお願いします。なお、あらかじめ Zoom のバージョンアップをお願いします。
- ・ 当日の質問は Q&A (質疑応答) よりチャット機能を用いてお願いします。
- ・ 参加方法の変更は、9 月 7 日 (月) までに事務局へご連絡をお願いします。
- ・ 当日の受付は 10:00 より開始します。

◆ 抄録集について

参加申請された方に、PDF 版抄録集の URL をご案内しますので、ご自身でダウンロードしていただきます。また現地参加の方には、冊子版抄録集を現地受付にて配布いたします。

◆ 領収書および参加証明書について

- ・ 領収書は参加費支払い完了メールにて、添付いたします。
- ・ 参加証明書は9月7日（月）までにダウンロード URL をメールで送付しますので、お手数ですがご自身で印刷をしていただき、現地参加の方は当日ご持参ください。

◆ 演者・発表スライドについて

- ・ 発表用スライド格納用に、One Drive の URL をメールにてご案内いたします。
9月4日（金）までにアップロードをお願いいたします。なお発表スライドはマイクロソフト社の PowerPoint で作成したものに限りします。
- ・ 利益相反（COI）https://yuketsu.jstmct.or.jp/summary/summary_coi/
COI に関する指針細則に従い、学会発表の際には COI の開示をお願いします。

◆ 懇親会について

例会終了後、下記の通り懇親会を開催します。

時 間 ： 17：45 ～ 19：15

会 場 ： 新潟医療人育成センター 2F セミナー室 2

参加費 ： 3,000 円

- ・ イベントペイにて「現地参加+懇親会参加」の参加登録を行ってください。別途システム利用料 275 円がかかります。振込後のキャンセルはできません。
- ・ 領収書は現地でお渡しします。
- ・ 懇親会終了後、新潟駅南口行のマイクロバスをご利用いただけます。ただし、定員 50 名のため、満車の際はタクシー、または市営バスをご利用ください。

◆ 問い合わせ先

第 162 回日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会 事務局

新潟県立がんセンター新潟病院 輸血室 阿部 千尋

住所：〒 951-8566 新潟県新潟市中央区川岸町 2-15-3

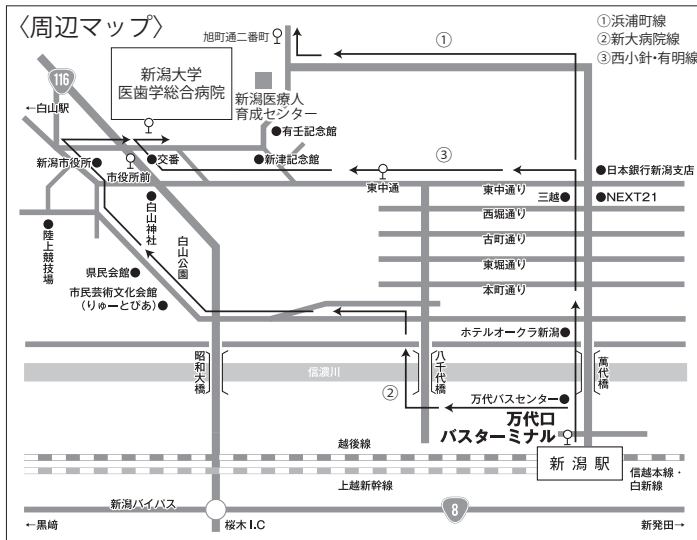
TEL：(025) 266-5111（代） 内線 2256

FAX：(025) 266-5211

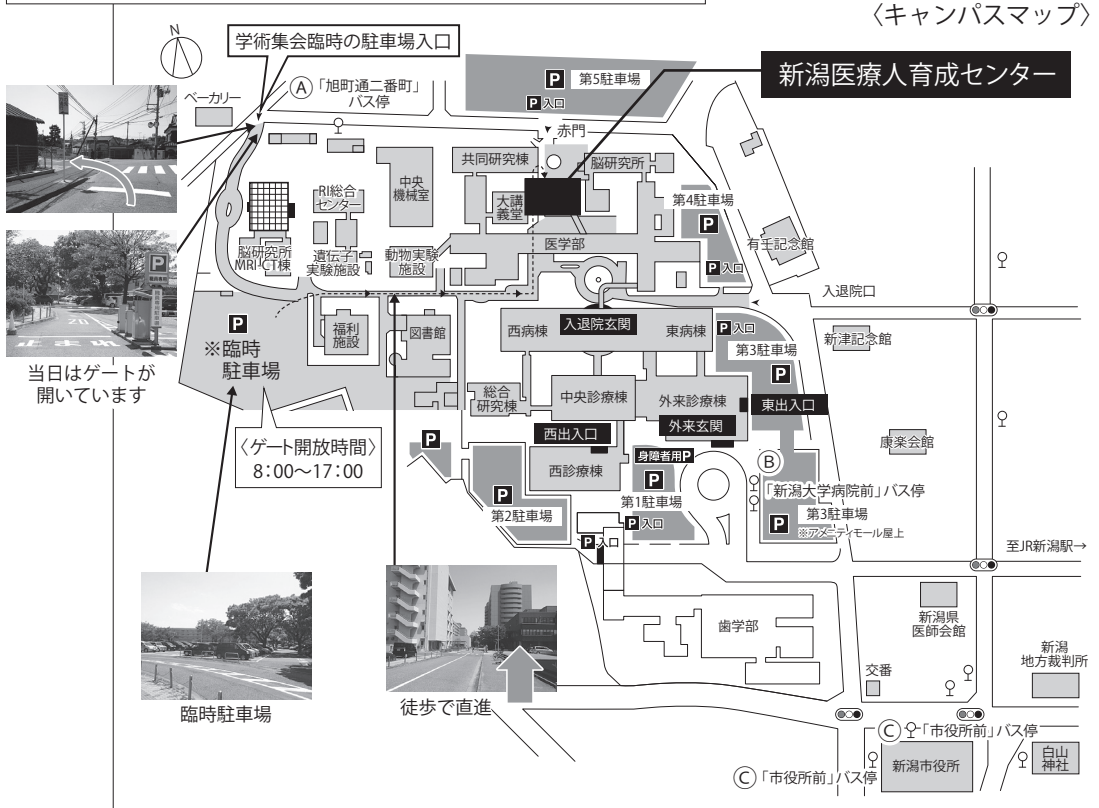
E-mail：the162nd@gmail.com

アクセス

会場：新潟医療人育成センター 4F ホール（新潟大学旭町キャンパス内）
新潟市中央区旭町通一番町 757 番地



- ・会場までタクシーをご利用の方は「新潟大学医学部 赤門前」とお伝えください。
- ・駐車場をご利用の方は、学術集会臨時の駐車場※をご利用ください。
駐車料金は無料です。
第4・第5駐車場は有料となります。
〈ゲート開放時間〉
8:00～17:00



*バスでお越しの場合/路線バス（JR新潟駅南口バスのりばより）約10～15分

6番線	B 1 万代橋ライン	「東中通」④バス停で下車	バス停より徒歩7分
7番線	W 2 西小針線	「東中通」④バス停で下車	バス停より徒歩7分
8番線	C 3 信濃町線 W 1 有明線	「東中通」④バス停で下車	バス停より徒歩7分
9番線	C 2 浜浦町線	「旭町通二番町」⑤バス停で下車	バス停より徒歩3分

■運賃260円（運賃後払い） ■支払方法：現金またはICカード



旭町通二番町 時刻表
(C20 浜浦町線<浜浦町経由>
西部営業所ゆき)



新津記念館前 時刻表
(観光循環線 新潟駅ゆき)
※上記バス停は、往路のみ



東中通 時刻表
(B10万代橋ライン
青山ゆき)

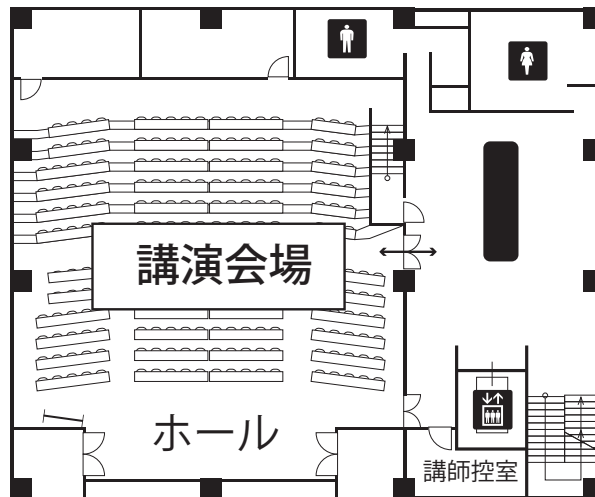


東中通 時刻表
(B10 万代橋ライン<万代
シティ経由>新潟駅ゆき)
※帰りは東中通

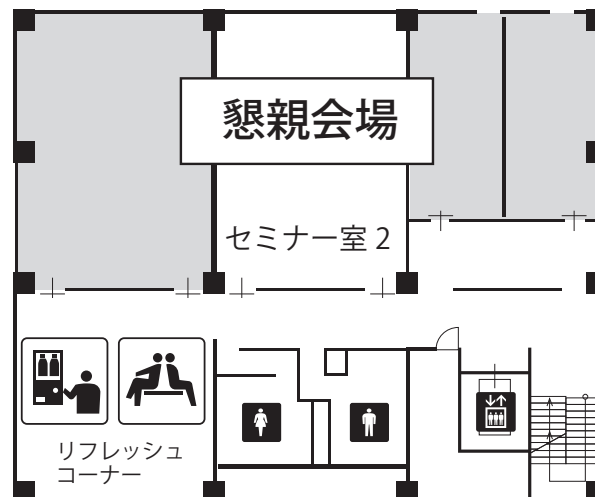
●会場行のマイクロバスが新潟駅南口より出ます。時間後報

会場案内

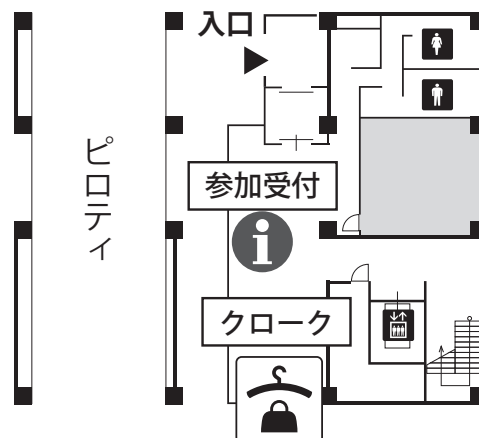
4階



2階



1階



第162回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会

メインテーマ：皆で実践する輸血療法－安全・適正・連携－

例会長：関 義信（新潟県立がんセンター新潟病院 / 新潟大学医歯学総合病院）

日 時：2026 年 9 月 12 日（土）11：00～17：35

場 所：新潟医療人育成センター 4F ホール（新潟大学旭町キャンパス内）

テーマ：『皆で実践する輸血療法－安全・適正・連携－』

11：00～11：40

ランチョンセミナー

（共催：中外製薬株式会社）

座長：関 義信（新潟県立がんセンター新潟病院 / 新潟大学医歯学総合病院血液内科）

演者：中澤 英之（信州大学医学部附属病院 血液内科）

LS 「ピアスカイとPNH 治療～治療の『多様性』に注目する意味～」

11：50～11：55

開会挨拶

例会長：関 義信（新潟県立がんセンター新潟病院 / 新潟大学医歯学総合病院 血液内科）

11：55～13：35

一般演題

座長：金子 誠（三井記念病院 臨床検査部）

座長：大倉 一晃（済生会新潟県中央基幹病院 輸血・検査部）

O-1 群馬県臨床検査技師会の輸血検査研究班の活動とその課題

北爪 洋介（JCHO 東京山手メディカルセンター）

O-2 臨床検査技師によるアフエレーシス実施体制の構築

山中 万次郎（信州大学医学部附属病院 先端細胞治療センター）

O-3 無菌的に分割した赤血球製剤のシリンジ分注操作の安全性および製剤品質の検討

山中 まゆみ（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 臨床検査部）

O-4 稀な Dombrock 血液型抗体（抗 Doa）保有患者における輸血関連情報カードを用いた施設間連携の経験

末次 遼太（自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部）

O-5 試験管法における凝集判定手技の標準化に向けた取り組み

廣田 渉（さいたま赤十字病院 検査部）

O-6 院内における赤血球製剤 ABO 血液型検査により発見された A 亜型症例

春原 俊哉（長野赤十字病院 輸血部）

O-7 直接凝集試験が病態評価に有用であった HHV-8 関連多中心性キャスルマン病（MCD）再燃に伴う溶血性貧血の 1 例

古谷 江梨子（東京大学医学部附属病院 輸血部）

O-8 エルトロンボバグ内服中に採血された自己血から自己フィブリン糊を作製した 1 事例

藤田 浩（東京都立墨東病院 輸血科）

O-9 当院小児科における輸血用血液製剤の適正使用評価

：一律トリガー評価と臨床的妥当性評価の比較

原田 真由（東京慈恵会医科大学附属病院輸血・細胞治療部 /
東京慈恵会医科大学 小児科）

O-10 死戦期産科シミュレーションを通じて考える輸血部門の役割と課題

長谷川 浩子（千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）

13:45～14:35

シンポジウムⅠ 「安全な輸血看護－輸血部連携」

座長：佐藤 智彦（東京慈恵会医科大学病院 輸血・細胞治療部）

座長：岡部 卓也（新潟県立がんセンター新潟病院 看護部）

S1-1 多職種で目指す円滑で安全な輸血医療 ～当院での取り組み～

横手 恵子（群馬大学医学部附属病院）

S1-2 輸血看護の現実と課題から目指すべき連携の姿

猪越 ひろむ（千葉大学医学部附属病院）

S1-3 当院における輸血業務の効率化と安全性向上 ～多職種連携による業務改善の取り組み～

渋谷 祐介（東海大学医学部附属病院）

14:45～15:25

アフタヌーンセミナー

（共催：サノフィ株式会社）

座長：横山 健次（東海大学医学部附属八王子病院 血液腫瘍内科）

演者：加藤 恒（大阪大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）

AS 「BTK 阻害剤ウェイリスが拓く新たな ITP 治療」

15:35～16:25

シンポジウムⅡ 「輸血療法実践ガイド：現場での活用と課題」

座長：長谷川 雄一（茨城県赤十字血液センター）

座長：高橋 政江（新潟県立妙高病院）

S2-1 基本概念から製剤適正使用まで

藤原 慎一郎（自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部）

S2-2 検査・管理体制の標準化と課題

小嶋 俊介（信州大学医学部附属病院 先端細胞治療センター）

S2-3 特殊状況における輸血と横断的取り組み

田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科・輸血部）

16:35～17:25

特別講演

座長：関 義信（新潟県立がんセンター新潟病院 / 新潟大学医歯学総合病院）

演者：石井 洋子（船橋市立医療センター）

SL 「輸血療法から考える患者安全」－安全文化を育む組織づくりと実践－

17:25～17:35

閉会挨拶

例会長：関 義信（新潟県立がんセンター新潟病院 / 新潟大学医歯学総合病院）

支部長：長村 登紀子（東京大学医科学研究所附属病院 セルプロセッシング・輸血部）